

会議録(1)

会議の名称	令和4年度第1回飯能市社会教育委員会議		
開催日時	令和4年12月15日(木) 開会 午前10時00分 閉会 午前11時40分		
開催場所	飯能市役所本庁舎別館 第2会議室		
議長氏名	社会教育委員代表 大野 康		
出席委員	大野 康 岩崎 隆 吉野勝美 山川安代 久下文男 木崎 茂 福嶋信子 高野淳一 竹内陽子		
欠席委員	野村浩之 井上淳治 倉田 純 金澤千恵子 藤本重成 平野和弘		
説明者の 職氏名	社会教育委員代表 大野 康 生涯学習担当 筑井 利江		
傍聴者の数	なし		
会議次第	別紙資料		
配布資料	1. 会議次第 2. 飯能市社会教育委員名簿 3. 生涯学習フェスティバルについて 4. 第28回入間地区生涯学習フォーラムの参加要請について 5. 今年度の生涯学習課の事業について(令和4年12月9日現在)		
事務局職員 職氏名	教育部	生涯学習課課長	武藤 郁夫
	同	生涯学習課主査	川崎 彩子
	同	生涯学習課主査	筑井 利江

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	開会：午前10時
事務局	<p>ただ今から、令和4年度第1回社会教育委員会議を開会します。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、なるべく短時間で会議を運営できるようご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、大野代表からあいさつをお願いします。</p>
委員代表	(あいさつ)
事務局	<p>続きまして社会教育委員 新委員のご紹介と自己紹介を行います。</p> <p>社会教育委員は、3年の任期となっております。現任期は、令和2年7月より令和5年6月までの3年となっております。今年度選出団体の役員等の交代があったため、新委員となられた方がいらっしゃいます。</p> <p>また、欠員となっております1名も今年度選出させていただきました。なお、委嘱状については既に郵送でお送りしておりますが、ここでご紹介させていただきます。</p> <p>高野淳一委員(元飯能市公立小学校校長)です。自己紹介をお願いします。</p> <p>(自己紹介)</p>
事務局	それでは協議事項に移ります。代表に議長をお願いいたします。
議 長	それでは協議事項(1)生涯学習フェスティバルについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	(配布資料に基づき説明)
議 長	<p>ありがとうございます。事務局からの説明について質問はございますか。</p> <p>また、生涯学習フェスティバルの開催について委員の皆さんのご承認をいただきたいとのことですが、いかがでしょうか。</p>
委 員	社会教育委員がいるので内容も協議して決めるべきではないか。この提示した内容は案なのか。決定事項なのか伺いたい。
委 員	資料のとおり過去の経緯は書かれているが、コロナ禍の中でやれることは何だろうと考えた時にシンポジウムのようなことであればできるのではないかと考えていたので、提案を聞いて今できることを実行することは良いこと。よくこの内容の企画してくれたと思う。
委 員	社会教育委員はあくまで一つの団体に過ぎないので、今まで関わってくれている外4団体にこの提案について説明及び承諾は得ているのか。
委 員	今までは、公民館の持ち回りで発表の場を提供してもらっていて、公民館

	<p>活動をしている団体や高齢者の方は、この発表の場を楽しみにしている。コロナ禍で内容を変えてやるべきだと思っていたが、決め方、進め方に問題があるのではない。</p>
事務局	<p>事務局として、どのように開催したらよいか協議し、検討してきた。コロナウイルス感染の終息の目途がたたない中、別事業で様々な団体と関わる中で何かしら考えて開催する必要を感じていた。委員からのご指摘のように協力いただいていた他の4団体にも説明する必要があり、この会議でお諮りした後、書面等でお伝えする予定である。ただ、コロナ禍前と同様の開催が難しい中で、新たな提案無しに各団体に説明しても事務局として前に進んでいかないだろうと感じていたので、内容を検討し、この会に提案させていただいた。今回は、当課で機会が無かった20代をターゲットに検討させていただいた。</p>
	<p>12月議会の一般質問にもあったように生涯学習全般、特に文化活動に若い世代の参画がないのではないかと意見をいただいた。各団体の高齢化等の課題はあるが、市内の若い方も活躍していることも知っていただきたいと思い、そのような内容を盛り込んだ提案をさせていただいた。</p>
委員	<p>今まで協力していた団体、5団体に協力を得るのであれば、対等の立場ではないか。であれば、その5団体にこういった内容で開催したいという説明で協力を得るやり方が妥当なのではないか。進め方の問題を感じる。</p>
課長	<p>事務局としては、生涯学習フェスティバルをとにかく開催したいと検討してきた。5団体を集めて説明をするには、会議も書面開催やオンラインで行っている団体も見受けられ、会議開催を見合わせた経緯がある。当課として判断し、一歩進めるためには、諮問答申ができる社会教育委員会議に計画案を提示し説明させていただいた。</p>
委員	<p>今年度5団体集め、2年中止にしてきた生涯学習フェスティバルをどのようにしていくべきかの話し合いができていないまま今に至っている。事務局が提案してきた内容は、今ここでできる形であると思う。今後、継続してやっていくとなれば他団体と協力してやっていくことが望ましいが、生涯学習フェスティバルを開催しないことによって飯能市の生涯学習が衰退していくとは思わない。しかしながら、事務局として今できることとして提案してきた事業は、行うことでよい。事業開催にあたっては、集客の課題はあるだろう。</p>
委員	<p>文化新聞にも掲載されたが、二小地区青少年育成会で飯能第二小学校の校長先生に協力をお願いし、中学生はボランティアを募り「ありがとうコースター」を製作し、地域の高齢者へプレゼントした。その中で中学生の発想が素晴らしく、大人の発想とは違うなと心に響いた。中学生の発想を取り入れていくのはどうかと感じた。</p> <p>今後も今までの協力団体に協力を求めるのであれば、他4団体に生涯学習フェスティバルをどのような形で開催していけばよいか聞いてほしかった。その中で出た内容をまとめて社会教育委員会議に提案してほしかった。</p> <p>自分の所属団体の委員も生涯学習フェスティバルを開催する意欲があっ</p>

	<p>たのに進行の仕方が残念だ。</p> <p>課長 やはり、コロナ禍で5団体を集めて意見をもらうことが難しい中で、担当課長としては、生涯学習フェスティバルを開催することはできないだろうと思っていた。しかしながら、担当職員が「開催することはできないでしょうか」と言ってきた。コロナで2年中止してきた中で一步前に進むためにも何ができるだろうと検討し、この会で提案したことが、皆さんの指摘するところであろうと思う。何かをしていこうと考えた職員を評価し事を進めてきた。</p> <p>先ほど、担当から説明があったように、生涯学習に青年が関われるものがない。少年は、少年の主張大会や家庭の日ポスターコンクールもやっていた。だき、美術展や文化のつどい、文化祭、各地区公民館の文化祭など大人が関わっている事業はたくさんあるが、青年が関わってくるような事業がない。生涯学習としてその世代を放っておいてはいけなく感じる中で、頑張っている若者から話を聞いてはどうかということで提案させていただいた。</p> <p>提案の順序が違ったというご指摘については、真摯に受け止めるが、前に進むためにご理解いただきたい。</p> <p>委員 2月25日に開催するにあたり、日にちの変更はできないでしょうから、時間がない中で、関係団体の他4団体には、説明しご理解いただく機会はあるか。また、来年度以降の見通しについても話すのが良いのではないか。</p> <p>事務局 関係団体の他4団体には、早急に対応するようにします。</p> <p>委員 今までどおりとはいかない中で、どのようにつなげていくか。制限がある中でどのように行っていくか。そのような中で事務局が考えて提案した結果だと思う。ただ、ほかの委員が言うように、関係団体との調整や順序がどうだったか、今後の対応が必要だと思う。</p> <p>委員 今日出席していない委員や関係団体への説明をしご理解いただいで事業を進めていただければと思う。</p> <p>委員 今までやってきた事業を続けるということは大事なことだと思う。一方で、アフターコロナと言われる中、コロナ禍前と同じようにはいかないとも思う。新しいものを生み出していくことも大事なことだと思うので、今年計画していただいた青年をターゲットにしたパネルディスカッションを提案したことは良いことだと思う。コロナ禍前と今回の計画と融合した形なのか、来年度以降につなげるためにも年度当初から動いていけるように配慮し、準備を進めてほしい。</p> <p>委員 いろいろな団体の代表、経験値が違う中で話を聞いていた。なぜ、今、生涯学習フェスティバルを開催することが必要なのか理解できない。今まで築きあげてきたものがあるかもしれないが、やる気だけでは開催できない。今までやってきた事業が必要なものか精査する時期ではないか。それが、生涯学習課の仕事ではないか。そこから、いろいろな方々の意見を積み上げていくものではないかと思っている。2月25日に開催しようとしている話を今</p>
--	--

	<p>している場合ではない。開催は厳しいと感じた。</p> <p>議長 今までどおりは通用しない。やらないのは楽である中で、事務局が一步前に進みたいと計画してくれたことはよかった。年度当初に社会教育委員会議をやりたいと提案いただいていたが、新型コロナウイルス感染症が第6派、7派ときていたので見送った。今回も第8派の中、リスクのある中で集まっている。委員の皆さんが意見されたように5団体を集めて、協議するにはリスクがあった話だと思う。止まっていたものを動かすことはエネルギーが必要となる。今年度は特別な年ととらえ、来年度以降は協力団体に早くから説明し、どういったことであれば開催できるか早めに話し合いの場を設けて準備を進めてもらいたい。</p> <p>いろいろな仕事に携わる中で、青年の世代が、すっぼり抜けていると感じる。飯能市出身で市外に住む青年に協力いただきながら成り立っている飯能市だと感じているので、青年の力を借りて何かを行っていくということは今後増えていくと思う。その中で、この提案はいいものだと感じているので、委員の皆さんにもご理解いただき、事務局提案を承認していただき、生涯学習フェスティバルを成功させていただきたい。</p> <p>委員 内容については、賛成である。しかしながら、提案ではなく内容が決まっているのはおかしいのではないか。この会議は、意見を出し合い話し合う場でありながら、決定内容を提示するのは違う。他4団体への説明も今後もあるからしてほしい。</p> <p>パネラーの選出にも異議がある。他の団体に呼び掛ける等、市内の若者で活躍している人を知りませんかと聞いてほしかった。</p> <p>議長 コロナ禍で開催することで限られた時間の中、今年度については、特別ということで、今やれること、できることをやるということで委員の皆さんの了解をいただきたい。</p> <p>委員 開催するというので、内容について工夫できることなどを議論したほうが良い。例えば、パネルディスカッションの時間は60分程度でよいのか。周知の方法など、前向きな話をする方が開催をより良いものにできるのではないか。</p> <p>課長 今回の進め方のご指摘については、真摯に受け止めている。今回も中止にするのであれば早めに関係団体に通知する必要があると担当には伝えていた。時期的に開催が難しければ、生涯学習フェスティバルの文字を抜いてはどうかとも提案した。しかし担当としては、生涯学習フェスティバルがあってこそその会だと発言があった。コロナ禍前から積み上げてきたものなので抜くことは考えていないとのことだった。挑戦ということもあるし、活躍している若者は厳しい中で、その日であれば今のところ大丈夫との回答をいただいている。時間がない中だが、進めさせていただきたい。</p> <p>議長 コロナ禍で開催自体が難しい中で、新しいものを作ろうとしていること、来年度以降は、コロナ禍前と同じようなことはできないにしても以前協力いただいた団体にもこの後説明をするということで、今年度についてはご理解</p>
--	---

	<p>いただき、委員の皆様へ承認いただき、この事業をスタートさせてほしいと思うがいかがか。またこの後、実行委員会委員を選出したいがいかがか。</p>
委員	<p>賛成の声あり</p>
委員	<p>実行委員立ち上げについて、伺いたい。5名と明記されているがどのような仕事があるか伺いたい。</p>
課長	<p>5名程度で、仕事の内容は確定していない状況なので、今後詰めていきたい。今年度については、社会教育委員会が適任であろうと考え、この会で提示させていただき、実行委員の選出もお願いしたところである。</p> <p>労働的、事務的なものについては、事務局で行い、実行委員の方々の負担にならないように進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>青少年育成市民会議の主張大会は開催できているので、できないことはなく、開催することは悪いことではない。次年度以降の対応については注意していただきたい。</p>
議長	<p>この会議で委員から出た意見については、次年度以降に活かしていただくということで、今年度の内容については承認ということよろしいか。</p>
委員	<p>賛成の声あり</p>
委員	<p>今後、実行委員会は何回を考えているのか。検討内容はこういったことがあるのか伺いたい。</p>
事務局	<p>実行委員会は、提案させていただいた内容についてタイムスケジュールを詰めていくなど、多くて3回を予定している。主な事業事務については事務局で行うこととし、実行委員の皆様には主に当日対応をお願いできればと現時点では考えている。</p>
議長	<p>生涯学習フェスティバル実行委員は、大野康委員、山川安代委員、久下文男委員、木崎茂委員、福嶋信子委員、高野淳一委員、竹内陽子委員の7名とする。</p>
委員	<p>集客について研究する必要があると思う。小ホール300人とは言え、どのように周知していくか検討する必要がある。</p>
委員	<p>生涯学習フェスティバルの対象者はどのように考えているか。</p>
事務局	<p>老若男女を考えている。</p>
委員	<p>事前申込、完全指定席と書いてあるが、小ホール300人をどのように受け付けるのか。</p>
事務局	<p>市民会館との共催となっているので市民会館の申し込み方法を採用し</p>

	<p>ている。事前申し込みに余裕がある場合には、当日受付も検討している。ただ、新型コロナウイルス感染症対策もあるため、指定席とさせていただきます。</p>
委員	<p>やれること、やれないことの判別と課題を洗い出し精査し、準備を進めていく必要があると感じた。</p>
議長	<p>皆様、ほかに何かご意見はございますか。 (なしの声)</p>
議長	<p>それでは協議事項(2)第28回入間地区生涯学習フォーラムの参加要請について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(例年の参加要請に基づき説明)</p>
議長	<p>事務局からの説明について質問はございますか。 (なしの声)</p>
事務局	<p>続きまして、報告・その他に移ります。事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>「今年度の生涯学習課の事業について」です。12/9時点で、事業が完了したもののみご報告させていただきます。詳細は資料をご覧ください。</p>
議長	<p>皆様、何かご意見はございますか。 (なしの声)</p>
議長	<p>全体を通してご質問がありましたらお願いします。 (なしの声)</p>
生涯学習課長	<p>(あいさつ)</p>
事務局	<p>以上をもちまして、令和4年度第1回飯能市社会教育委員会議を閉会いたします。</p>
事務局	<p>閉会：午前11時40分</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します</p>	
<p>令和 年 月 日</p>	
<p>議 長 の 署 名 _____</p>	